

中央会からお知らせ

「組合機能強化支援事業」のご案内

本会では、組合及び組合員企業の活性化を図るため、「組合機能強化支援事業」を実施しております。

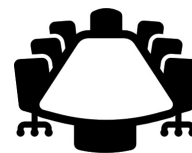
【事業内容】

専門家を活用して、SWOT分析や組合員の意識調査などを取り入れながら、組合員同士の徹底した話し合いを行います。組合事業における課題の抽出を行い、改善に向けた計画づくりや今後の方向性の策定などを支援します。

【費用負担】

本事業実施にかかる次の経費は、300,000円以内で本会が負担いたします。

専門家謝金、専門家旅費、会議費、会場借料、消耗品費等



今回は、本会が過去に支援した事例から、3組合の取組みについてご紹介いたします。令和3年度事業もまだ活用可能(令和3年9月時点)ですので、当事業を活用し、組合事業の活性化に取り組んでみませんか？

組合名：協同組合米沢市商店街連盟（令和元年度実施）

テーマ：現ポイントカードに代わる次世代システムの調査

背景と事業目的

当組合は、ポイントカード事業として「ふれあいカード事業」を中心に事業を実施している商店街組合である。ポイントカードシステムの老朽化が進んでいたことや、店主の高齢化の影響により端末導入店が減少傾向にあったことから、今後のシステム継続について検討することを目的として実施した。

取組みの手法と内容

当事業を活用し、業界と機器システムに精通した専門家からの指導のもと、次世代システムについての検討が行われた。県内外の事例研究と組合員同士の話し合いを実施していく中で、より多くの店舗が参加できる販促を実現すべきとの方向性が出された。

また、外部環境分析を実施し、地域には製造業の工場や大手流通業等が進出しており、若い世代も数多く生活している状況を把握し、子育て中の若いファミリーをターゲットにした販促を行うこととなった。

組合の他の事業として、お多福市というイベントを実施しており、お多福シールを集めて応募はがきに貼付し、交換商品を選んで投函するというイベントであるが、組合員とおお客様の双方から好評を得ており、若い世代からの応募も多い現状がある。シールを集めることには年齢を超えた楽しさがあることや、端末や回線の設備が不要で、気軽に参加店舗を確保でき、組合員の増加も期待できることなどメリットが多いことが分かった。

事業の成果と今後の展開

専門家からの指導や組合員同士の話し合いを通じて、地域の商店街を取り巻く実情の把握ができたこと、また、これまでの「ふれあいカード事業」の内容を精査し、結論的には今後の次世代システムはシールタイプで実施していくことに決定した。また、組合事業の安定した収益事業として継続できるように収益の試算も綿密に実施し、これまで通り安定した組合運営ができることを確認した。

現在のポイントカードシステムの課題を踏まえた次世代システム導入に向けた調査を通して、今後の組合事業の方向性が見え組合体制の強化が図られた。



お多福シール



令和元年度ふれあいカード感謝祭の様子